

呼吸・心臓リハビリテーション

カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ

改訂
第2版

● 改訂の序	居村茂幸	3
● 初版の序	居村茂幸	5
● 略語一覧		8

第1章 呼吸・心臓リハビリテーションに共通した評価方法 間瀬教史

1. 胸部の観察	12
2. 呼吸困難の評価	27
3. 運動耐容能の評価	29

第2章 呼吸障害のリハビリテーション 間瀬教史

1. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	34
2. 間質性肺炎	71
3. 外科手術後の急性呼吸不全	80
4. 肺炎・ARDS	108
5. 気管支喘息	121

第3章 循環障害のリハビリテーション 高橋哲也

1. 心筋梗塞	140
2. 慢性心不全	153
3. 冠動脈バイパス術 (CABG) 後の急性期リハビリテーション	167
4. 弁置換術・弁形成術後の急性期リハビリテーション	187
5. 大動脈瘤・大動脈解離の手術後の急性期リハビリテーション	199

6. 心臓リハビリテーションにおける運動療法	215
7. 付録	236
① 急性心筋梗塞 14 日間クリニカルパス	
② リハビリテーション（運動）を一次中止する反応	
③ ボルグスケールと修正ボルグスケール	
④ 心疾患理学療法におけるリスクマネジメント基準	
⑤ 運動療法前のメディカルチェック	

索引	240
----	-----

本書の構成

本書では疾患ごとに、

『**A** 知識の整理』

『**B** リハビリテーションプログラム』の2部構成で解説しています。

A 知識の整理

各疾患の病態や画像所見、治療法などを理解する。



B リハビリテーションプログラム

臨床経過や病態に応じたプログラムの流れ、リハの手技などを理解する。

第2章 呼吸障害のリハビリテーション

1. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

A 知識の整理
B リハビリテーションプログラム

POINT

- 1 慢性閉塞性肺疾患の肺の病態について理解する
- 2 運動耐容能の低下要因について理解する
- 3 必要な検査結果について理解する

第2章 呼吸障害のリハビリテーション

1. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

A 知識の整理
B リハビリテーションプログラム

Do!

- 1 肺機能や呼吸器の重症度を把握する
- 2 運動耐容能の低下要因を把握し、その要因に対するプログラムを行う
- 3 特に重症例では運動耐容能の評価に加え、ADL・IADL障害の程度を把握する
- 4 肺高血圧、栄養障害、運動時低酸素血症などの運動に対するリスクを把握し、適切な運動強度を設定する
- 5 特に重症例では、福祉サービス、福祉機器を利用し、ADL・IADL障害に対する生活指導を行う

Don't!

- 1 運動に対するリスクを無視した過度な運動は行わない
- 2 重症例では、運動療法に固執しない